

T20211230_04_ Pan Dacom Direkt

Pan Dacom Direkt、25.6Tbps/ファイバを実現する SPEED-MUX 800G

Pan Dacom Direkt は、新しいプラグインマクスポンダカード SPEED-MUX 800G を公式発表した。これは、データレート 400Gbit/s を可能にし、SPEED-OTS-5000 ポートフォリオの拡張を可能にする。

SPEED-MUX 800G は、プラグイン CFP2 モジュールおよび AES 256 Layer 1 エンクリプション付世界初 800Gbit/s マルチプロトコル多重カード。構成により、"ドイツ製"カードは、最大 4 QSFP28 または QSFP-DD トランシーバ装備となり、顧客の特殊要求に適合可能。SPEED-MUX 800G を利用することで、100、200 および 400GbE のダイレクトアグリゲーションが可能になり、アプリケーションの柔軟性が最大化される。低遅延 AES 256 Layer 1 エンクリプションは、オプションで活性化できる。

新 SPEED-MUX 800G は、2 つの CFP2 トランシーバを使用して、最大 2×400Gbit/s を DWDM 1 波長ごとに伝送。これにより最大 64 DWDM 波長伝送は、1 本の光ファイバで 25.6Tbps となる。さらに、SPEED-MUX 800G は、QSFP-DD トランシーバカードを使うことで、デュアル 400G トランスポンダカードとして利用可能。既存 DWDM ネットワークへの直接接続もできる。16 および 32 Gigabit Fiber Channel を含め、100 Mbit/s～400 Gbit/s までの高いプロトコル柔軟性により、ユーザは、将来のネットワーク拡張で優れた投資保護を享受することになる。

この最新の技術的飛躍により Pan Dacom Direkt は、デジタル未来への道を開く。年率約 30%で拡大するデータトラフィックにより、400G 技術は、コスト低減ネットワーク拡張には重要な決め手である。Pan Dacom Direkt は、顧客の要求とともに成長できるシステムを開発した。顧客は、複雑でない、高速のサービスプロビジョンにより、新しいサービス品質を経験する。新しい 800G マクスポンダソリューションに必要なインフラストラクチャコンポーネントは少なく、したがってネットワークアーキテクチャおよび運用は著しく簡素化される。



